

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号

TEL 清水<0543>52-4146代

5.22

(社)日本港湾協会の第63回 通常総会が清水市で開催

全国各地から
港湾関係者千二百名参加

(社)日本港湾協会(岡部保会長)の第63回全国港湾大会(通常総会)は二十二日、清水市の清水市民文化会館大ホールに全国各地から約千二百名の港湾関係者(運輸大臣、国会議員、運輸省港湾局、各県港湾関係者、団体等)が出席して盛大に開催された。

総会の次第は、まず一同で国歌を斉唱し、このあと主催者挨拶(社)日本港湾協会会長、歓迎挨拶(清水市長)、続いて、祝辞(運輸大臣、国会議員代表、



▲(社)日本港湾協会の通常総会が開催された清水市民文化会館

静岡県知事、日本港湾協会支部連合会長)祝電披露(総理大臣等)が行われ、次いで運輸省港湾局長が港湾行政一般報告を行った。

引き続き総会成立確認、議事録署名人の選任を行い議事(議案第一号から第七号)に入り全議案満場一致で採択され、第63回通常総会は終了し

大正十年、内務省直轄事業として、清水港の整備に着手して以来、清水港工事事務所は七十年になります。諸先輩の御尽力の積み重ねで今日の発展をみた清水港、駿河湾入口の地理的条件に恵まれ、今後躍進が期待される御前崎港、避難港としてのみならず、伊豆半島の玄関口として重要性が増す下田港と何れも重要な拠点も私達の職場となりました。

事務所創立70年を迎えて

次長 杉森邦夫

それぞれの港で、地元の信頼を受け建設に携わる私たちにとって、記念すべき年にこの事務所に籍を置くことを誇りに思います。

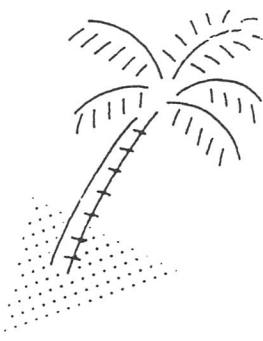
た。次いで正午から港湾功勞者等表彰式が開かれ、清水港工事事務所管内では「清水港富士見岸壁12m(改良)工事」で表彰を受けました。昼食休憩後の午後一時過ぎから郷土芸能等が披露され、このあと大半の参会者は三コースに分かれて県内港湾視察旅行に出発するなどで散会した。

創立以来の七〇年間は、大正、昭和の激動期を経て、新しい21世紀を迎える準備の年代に当たります。工事事務所の歴史は、日本の近代化に至った過程と軌を一にします。輝かしい節目に当る本年十月先輩諸氏をお迎えして記念式典を催すことになりました。

伝統ある清水港工事事務所の新たな発展を期し、皆様の懐古談や激励を頂く機会となるものと思います。

記念式典

平成3年10月5日(土)
マリニビル会場



4/5 豪華客船「ふじ丸」・5/4 「日本丸」が 清水港へ相次いで入港

清水港日の出埠頭に四月五日、豪華客船「ふじ丸」(二三、三四〇ト)、商船三井客船所属が入港したのに続き、ゴールデンウィーク中の五月四日には運輸省航海訓練所の練習帆船「日本丸」二、五七〇トが寄港、一般公開された。

今年、このあとも豪華客船が続々入港することになっており、港の活性化に一段と弾みがつきそうだ。



▲豪華客船「ふじ丸」

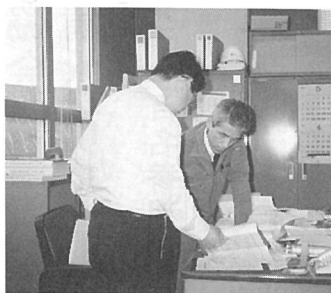


▲海の貴婦人「日本丸」

職場紹介⑤ 〈第二工事課〉

本来の業務は①工事の監督に關すること、②ケーソン製作場の保守・管理に關すること、であるが、現在は単身、事務所勤務の指定を受け、所長の特命事項を担当している。主たる業務は港湾計画に關すること、静岡県管内の港湾プロジェクトに關すること、このうち港湾計画については清水港興津地区コンテナ埠頭の計画導入が緊急課題であり、さらに御前崎港のプロジェクトを含めた計画の改訂に伴う諸

作業、計画済みであるが田子の浦港の西防波堤延長の施工に關する諸問題に關すること、つぎに静岡県内の港湾プロジェクトについては①清水港人工島構想②清水港三保真崎海岸③清水港日の出再開発④御前崎港コースタルリゾート計画⑤伊東マリントラウンプロジェクト⑥西伊豆マリントラウンプロジェクト⑦下田港マリントラウンプロジェクト⑧熱海港コースタルリゾート計画⑨沼津港マリントラウンプロジェクト⑩大井川マリントラウンプロジェクトがあり、これらの計画に対しアドバイザーとして所長のもと実現のため協力す



▲中村所長と打合せする池谷第二工事課長(右)



と、ということ。渡し役の一片を担う業務を行うております。

5/4 清水港湾博物館落成

(財)清水港湾博物館(鈴木与平理事長)は、この度日の出再開発地区に隣接し、新館としてフェルケール博物館を建設した。五月一日に竣工式が行われ、五月三日より一般公開された。

人事異動

- ▽ (四月一日付け)
 - ▽ 三河港庶務課庶務係長落合正己 (清水港庶務課管財係長)
 - ▽ 清水港庶務課管財係長土屋敏子 (清水港工事専門官)
 - ▽ 名古屋港労働厚生課労働厚生係長高橋孝 (清水港御前崎工場事務係長)
 - ▽ 清水港御前崎工場事務係長大野昌彦 (名古屋港労働厚生課労働厚生係長)
 - ▽ 清水港庶務課契約係主任寺田雅江 (清水港庶務課庶務係主任)
 - ▽ 清水港庶務課庶務係主任大村良子 (清水港庶務課管財係主任)
 - ▽ 清水港庶務課水野聡 (人事課)
 - ▽ 名古屋港海域整備課長宮下俊明 (清水港第二工事課長)
 - ▽ 清水港第二工事課長池谷友文 (四日市港建設専門官)
 - ▽ 港湾工事検査官 栗田岩男 (清水港次長)
 - ▽ 清水港次長佐々木兼光 (名古屋港務課長)
 - ▽ 企画課補佐 官藤野昭宏 (清水港下田工場長)
 - ▽ 清水港下田工場長棚田十四男 (名古屋港建設専門官)
 - ▽ 名古屋港建設専門官 大田勲 (清水港御前崎工場長)
- ▽ (四月一日付け)
 - ▽ 清水港御前崎工場長富居利喜夫 (工事課補佐官)
 - ▽ 名古屋港第一工事課第二工事係長 村松良彦 (清水港工事課第二工事係長)
 - ▽ 清水港工事課第二工事係長 堀井義一 (三河港工事課第二工事係長)
 - ▽ 設計室工事専門官 神藤明彦 (清水港工事専門官)
 - ▽ 清水港工事専門官 佐藤誠 (名古屋港工務課)
 - ▽ 名古屋港第一工事課第三工事係長 杉栄一郎 (清水港工務課)
 - ▽ 清水港工務課 村上裕幸 (港研 水工部漂砂研究室)
 - ▽ 設計室工務課併任 中出浩靖 (清水港下田工場)
 - ▽ 清水港下田工場 高橋裕司 (清水港工務課)
 - ▽ 清水港工務課 島田浩幸 (新規採用)
 - ▽ 清水港第一工事課専門官 庄司政功 (名古屋港工事専門官)
- ▽ (四月十二日付け)
 - ▽ 清水港経理課長 洞谷弘行 (清水港労働厚生課長)
 - ▽ 清水港経理課経理係長 山田秀夫 (清水港庶務課経理係長)
 - ▽ 清水港経理課契約係長 平野道男 (清水港庶務課契約係長)
 - ▽ 清水港庶務課労働厚生係長 石川俊雄 (清水港労働厚生課労働厚生係長)
 - ▽ 清水港経理課契約係主任 寺田

雅江 (清水港庶務課契約係主任)

▽清水港経理課 水野 聡

(清水港庶務課)

▽四日市港次長 池田辰男

(清水港第一工課長)

▽清水港第一工課課長 小山田 宇孝 (機械課補佐官)

▽工務課第三積算係長 山田誠

(清水港下田工場工係長)

▽名古屋港第二工課第三工係長

小栗智明 (清水港御前崎工場工係長)

▽清水港御前崎工場工係長 加藤道康 (清水港御前崎工場工係主任)

▽清水港御前崎工場 中津川 哲司 (工課)

紹介 新しい なかま



次 長
佐々木 光兼

初めての単身赴任となりました。確か下田港の本工着工は六〇年度で、⁴²m付近の捨石投入工事のみの竣功検査をした覚えがありますが、現在では既にケーソン六函が据付けられ、本当に防波堤工事を行っているんだなアという実感を味わっています。よろしくお願ひ致します。



第一工課課長
小山田 宇孝

七〇周年を迎えた重厚な歴史と伝統をもつ清水港工務所になりました。皆様と共に清水港のより一層の発展に寄与したいと考えております。よろしくお願ひ致します。



第二工課課長
池谷 友文

清水港工務所へは二度目の勤務となりました。課は二(荷)工課です。宿舎は平成二年度に竣功しました駒越北宿舎四十二号です。この四月二日から改めて「荷」重生活が始まりました。



下田工場長
▽ 棚田 十四男

✓ 清水港工務所は三度目の勤務となります。下田の町に早く慣れ、仕事に頑張りたいたいと思います。今後共よろしくお願ひ致します。



専門官
庄 司 政 功

名古屋港工務所に九年間勤め、今度二度目の清水港工務所勤務となりました。清水に永住したいと思っていたので今回の転勤は大いに助かったのですが、業務内容が多少変わるので幾分戸惑いを覚えています。一日も早く新業務に馴れたいと思います。よろしく御鞭撻の程。

第二工務係長

堀井 義一

生まれが山梨ですので、いつも富士山を見ていましたが、この度、清水へ住むことになり裏側?から見る富士山もなかなかいいですね。積算業務を担当することになりましたので、みなさんの力添えをよろしくお願ひします。

工務専門官

佐藤 誠

名古屋港工務所よりまいました。清水の地で良き思い出を残せるようがんばっていきますので、今後ともよろしくお願ひします。

工務課運輸技官

村上 裕 幸

港研(水工部・漂砂研究室)から転勤になりました。出身は岐阜県です。工務係の仕事は不慣れでも給料分働いているとは言えませんが、先輩方を見習って、早く「俺は港湾技術者だ!」と胸を張って言えるようになりたいと思います。まだまだ丁稚の身分ですので皆さんどしどし仕事を言いつけて下さい。

経理課運輸事務官

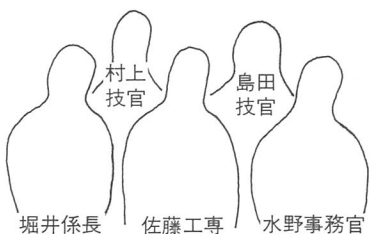
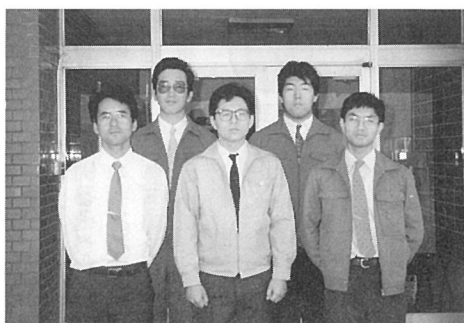
水野 聡

局の人事課給与研修係から清水港工務所の経理課に転勤になりました。入庁7年目にして寮生活はじめてということで、少々不安がありました。しかし、気兼ねなく、そして仕事はこれまでになく忙しくという感じですので、事務所もはじめてで分からないことが多いです。ご指導よろしくお願ひ致します。

工務課運輸技官

島田 浩幸

岐阜を出たのも初めて、一人暮らしも初めて社会人としても初めてな自分で、なにかと皆さんに御迷わくをかけると思います。自分なりに一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひ致します。



御前崎工場長

富居利喜夫

現場の仕事を担当するのは清水港の第一工事課（外港防波堤の消波工、日の出岸壁の再開発、興津第一埠頭の整備を担当）以来七年ぶりであります。

今回は、管内切つての海象条件の厳しい御前崎港、在任中は自然との付き合いが重要なウエートを占めると思っております。「安全第一」をモットーに任務を遂行したいと考えております。よろしくお願ひ致します。

事務係長

大野昌彦

青い水平線、白亜の灯台、風の町、御前崎にやってきました。

御前崎を楽しもうと思っております。よろしくお願ひ致します。

運輸技官

中津川哲司

さすがに御前崎は海の色が違います。外洋に面した第一線防波堤での工事ということで、今までに無い貴重な経験ができそうです。

私は浜松の出身ですので、やっと同じ言語を話す地域にきた！（遠州弁）と実感して

います。よろしくお願ひ致します。



工場だより

— 御前崎工場 —

サムタイムワールドカップ '90

四月二十七日から五月六日

までの十日間、御前崎白羽海岸でボードセイリングの世界大会が開催されました。

今年で八回目を迎えた大会では世界十六カ国から世界一流のボードセイラー九十六名（男子六十四名、女子三十二名）が参加し、賞金総額十八万ドルをかけ三競技に熱戦を



工事係長 金子英久

4月12日付で、名古屋港から下田港へやって来ました。自然豊かな環境の中で仕事が出来るのは幸せです。海はきれいな空気もうまい、魚もうまい……そこで一句朝市に集められたる春の幸磯の香りぞ

ここは伊豆なり。みなさんよろしくお願ひ致します。

訃報

当所車庫長杉田賢二様(55歳)には、長く自宅で療養されてきましたが、5月16日午前4時51分、ご逝去されましたので謹んでお知らせするとともに故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

— 下田工場 —

下田富士の伝説

伊豆の下田の昔話を聞きなつせ。下田にはの、下田富士という山があつての、駿河の富士と、八丈島の富士と三人姉妹であつたそう。中の駿河の富士は、たいそうべつびんで、みんなから好かれてあつたそう。姉の下田富士は、きりよすが悪くたれもあいてにしなかつたそう。下田富士は、妹の駿河の富士をねたみ、「駿河の妹の顔は見たくない」と、天城山をびよつぶのように立ててしまつ

たそう。きだてのやさしい、駿河の富士は、ねえさんの下田富士のことが心配で、「ねえさんはどうしているのだろうか」と、朝夕、毎日のびあがつたそう。だんだんせが高くなり、しまいには、日本一高い山になつたそう。それで、こうしたねえさんたちをよすを見て、八丈島の富士は、「どうかねえさんたちが仲よくやらんかなー」とひとり心ばいしながら遠くの海から、一生けんめい、いのりつつけているそうだとさ

（夏目事務係長）

清水港の動き

- 4月
 - 4月10日 清水港湾機関長会議(清水)
 - 4月11~12日 青島港訪日団来清
 - 4月22~25日 会計実地検査(清水・御前崎・下田)
- 5月
 - 5月1日 清水港湾博物館竣工(清水)
 - 5月4日 駿河湾海洋文化祭'91オーローパーティー(清水)
 - 5月4~8日 日本丸寄港(清水)
 - 5月8日 次期五カ年及び平成4年度予算要求説明会(名古屋)
 - 5月9日 清水港湾協議会平成3年度総会(清水)
- 6月
 - 6月1日 日本港湾建設協会静岡県支部全日本漁港建設協会静岡県支部平成3年度総会(静岡)
 - 6月1日 運輸省設置記念日(永年勤続表彰30年及び20年表彰)
- 7月
 - 7月20日 海の記念日(各地で式典)